



2026年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社 QD レーザ
代表者名 代表取締役社長 大久保 潔
(コード番号：6613 東証グロース)
問合せ先 常務執行役員経営企画室長 武政 敬三
(TEL. 045-900-6905)

資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、2026年6月24日開催予定の第20期定時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する議案を付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている利益剰余金の欠損を補填し、財務体質の健全化を図るとともに、今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保することを目的として、会社法第447条第1項及び同法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、増加後のその他資本剰余金の全部を繰越利益剰余金に振り替える手続きを実施したいと存じます。

本議案は、発行済株式数を変更することなく資本金及び資本準備金の額を減少するものであるため、株主の皆様が所有する株式数や業績に影響を与えるものではありません。

また、今回の資本金及び資本準備金の額の減少において当社の純資産額に変更はございませんので、1株当たり純資産額に変更が生じるものでもございません。

2. 資本金の額の減少の内容

① 減少する資本金の額

2026年5月13日現在の資本金の額94,467,849円のうち84,467,849円を減少し、10,000,000円といたします。

なお、当社が発行している新株予約権が、資本金の額の減少が効力を生ずる日までに行使された場合、資本金の額及び減少後の資本金の額が変動いたします。

② 資本金の額の減少の方法

減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金へ振り替えます。

③ 資本金の額の減少が効力を生ずる日

2026年8月31日を予定しております。

3. 資本準備金の額の減少の内容

① 減少する資本準備金の額

2026年5月13日現在の資本準備金の額6,291,448,919円のうち1,361,075,967円を減少し、4,930,372,952円といたします。

なお、当社が発行している新株予約権が、資本準備金の額の減少が効力を生ずる日までに行使された場合、資本準備金の額及び減少後の資本準備金の額が変動いたします。

② 資本準備金の額の減少の方法

減少する資本準備金の額の全額をその他資本剰余金へ振り替えます。

③ 資本準備金の額の減少が効力を生ずる日

2026年8月31日を予定しております。

4. 剰余金の処分の内容

上記2の資本金の額の減少及び上記3の資本準備金の額の減少の効力発生を条件として、当該減少により増加するその他資本剰余金の額1,445,543,816円の全額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当いたします。

① 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,445,543,816円

② 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,445,543,816円

③ 剰余金の処分が効力を生ずる日

2026年8月31日を予定しております。

5. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の日程（予定）

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| ① 取締役会決議 | 2026年5月14日 |
| ② 株主総会決議 | 2026年6月24日（予定） |
| ③ 債権者異議申述公告 | 2026年7月中旬（予定） |
| ④ 債権者異議申述最終期日 | 2026年8月中旬（予定） |
| ⑤ 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の効力発生日 | 2026年8月31日（予定） |

6. 今後の見通し

本件は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響はありません。なお、本件は、2026年6月24日開催予定の第20期定時株主総会において承認可決されることを条件としております。

以 上